

## 第2回生徒サポート部会 協議シート

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き活躍することのできる力を育むために》

## 1 第1回生徒サポート部会の振り返り

別紙議事録参照

## 2 今後の生徒指導のあり方

別紙 生徒指導提要について、生徒サポート部会がどのような活動に関わっていけるのかを教頭より説明。

## 3 保健室から見た本校生徒をめぐる支援体制の課題

- 1) 養護教諭より転退学生徒の状況と支援が必要な生徒の現状を説明。
- 2) 教頭より本校で起きているインターンシップに関する具体的な事例について説明。
- 3) 生徒指導部長より生徒の状況報告、教職員の生徒指導の現状について説明

## &lt;ご意見&gt;

## ○インターンシップの件に関して

- ・生徒の特性に対する配慮や具体的な支援の方法などを把握し、丸投げではなく、「こうしてほしい」を十分に伝える必要がある。
- ・対応の仕方を具体的に伝える。

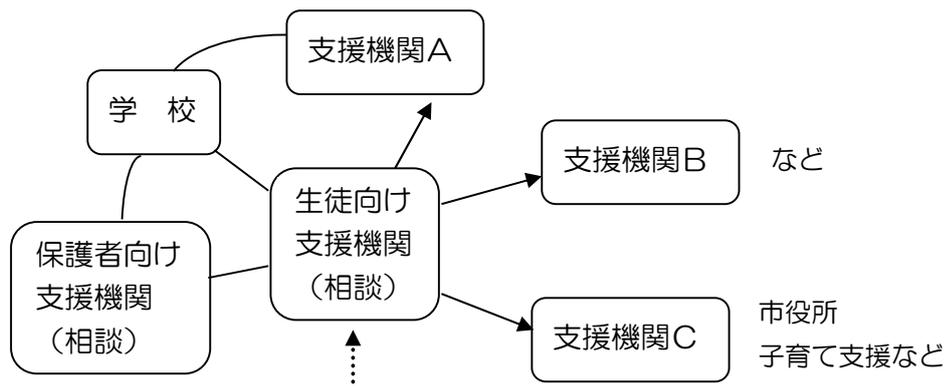
↓

☆課題：学校側のアセスメント不足、情報共有の不足  
 はたして、対応の具体例を学校が理解できているのか。

- ・教育と福祉の違い。福祉の関わりを学校でも…というのは難しい。

## ○保護者への支援について

- ・PTAの活動を支援の場と思うが、来てほしい方は来ない。
- ・小学校→中学校は情報共有できていると思うのですが、中学校→高校は情報共有できているのでしょうか。→なかなかうまくはできていない現状。
- ・情報未回収の層もいる。中学校で手が回りきらず放っておかれた生徒、保護者が支援を望んでいない生徒など…そういう生徒の層も見つけていく必要がある。



ここがすべて担ってくれれば学校が楽に…食事提供

- 保護者の中には学校に対して昔からネガティブな気持ちを持っている方もいる。  
学校に足が向かないことへの理解。状況を打破できるものはあるのか。
- つながらない保護者への支援の方法→研修  
研修：当事者の方に話をしてもらう  
相談：希望の方を受けつける → 学校に相談体制はできているのか。

○先生方の研修について

- 学校の相談体制は整備できているか。
- 学び直し、自己肯定感の向上に向けた働きかけができていないか。
- 生徒一人ひとりのアセスメントはできているか。



☆先生方も学びの場、研修が必要。

○学校運営協議会の役割

- 社会への働きかけ、情報発信 → 今後、企業の考え方が変わっていくことにつながるかもしれない。

- |   |  |                  |
|---|--|------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none"> <li>①保護者</li> <li>②生徒</li> <li>③教職員</li> <li>④学校体制・しくみ</li> </ul> | この4つへのサポートをしていく。 |
|---|--|------------------|

4 本校の今後の取組について

○カタリバのご案内

6月27日（木）10：50～

5 第3回生徒サポート部会の開催について

9月5日（木）全体会の日

次 回

- 「目標の明確化」（学校が望むこと）
- 「今年1年の入り口になりそうなこと」